

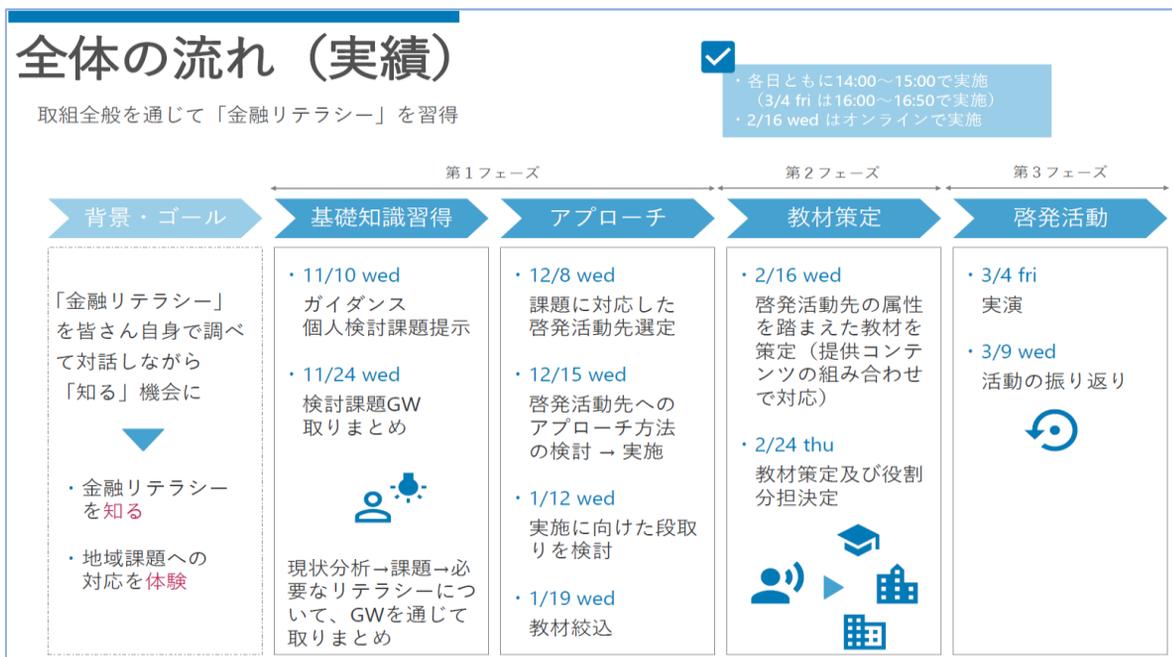
金融リテラシーをテーマとしたキャリア育成プログラム（佐賀大学）

佐賀財務事務所では、佐賀大学キャリアセンターが提供する「キャリアアクセラレーションPGM（プログラム）」*に金融リテラシーをテーマにしたコースを新設し、参加大学生が金融リテラシーを習得しつつ、金融教育啓発活動の担い手として高校生に向けた講座を実践する取組を実施しました。

※ 大学生のキャリアを拡充させるために地域内企業等と連携のうえ様々な取組を実践するプログラム

【取組概要】

- ・ 期間：令和3年11月～令和4年3月 合計 10コマ（各コマ1時間）
- ・ 参加：佐賀大学生 5名（当所職員がメンターとして参画）



- 取組の詳細は以下のとおり -

基礎知識習得（11月）

- ・ ガイダンスでは、取組の全体像を示し、金融リテラシーの重要性と金融教育がリテラシー向上に有効であるものの、金融教育の機会が少ないというギャップを紹介
- ・ こうした背景を理解したうえで個人課題として下記事項を検討

- なぜ金融リテラシーは重要か → 現状を自己分析のうえ重要性を言語化
- 若年層に必要な金融リテラシーとは → 若年層の実生活に必要なリテラシーを検討
- 大学生としてどのような啓発活動ができるか → 実現可能性を踏まえた検討

- ・ グループワークで各個人の意見を共有し、チームとしての意見をとりまとめ

アプローチ（12月・1月）

- ・チームでの検討を踏まえ、高校生向け講座を3月に実施する計画を策定
- ・講座実施に向けたアプローチを以下の流れで実施
 - 実施先への正面からのアプローチではなく、大学の持つネットワークを駆使したアプローチを検討
 - 佐賀大学キャリアセンターとも協働し、担当教授の教え子が在籍する高校へのアプローチを実施
 - 結果として、唐津商業高校簿記部所属生徒への金融リテラシー講座を獲得（部活動として実施）
- ・大学生自らが実施先の担当教諭と講座実施に向けた各種調整を実施

教材策定（2月）

- ・講座テーマが資産形成となったことを受け、講座を通じて高校生へ伝えたいメッセージを検討し、当所提供の大学生向け講座資料をベースに教材を策定
- ・教材については、他者の考えを聞きながら内容をより深く理解してもらうことを目的にグループワーク主体の構成で調整
- ・講座が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けオンライン形式となったことを踏まえ、講師役/調整役/アドバイザーの当日の役割を明確化

啓発活動（3月）

- ・3月4日（金）にオンラインで講座を実施
- ・当日は機器/設定トラブルにも見舞われたものの、お互いの役割を相互補完しながらチーム一丸で対応し、無事に講座を目標時間内に完了



3/4（金）参加学生



講座の様様

【PGM全体の感想（一部抜粋）】

このプログラムではたくさんの事を経験し、学べたと思います。
金融リテラシーについての知識はもちろん、計画を立てることの大切さ、チームで話し合う事の大事さ、自分の役割をはっきりさせ、それを全うすることの大切さなどたくさんの事を身につける事が出来たと感じます。大変なことも多々ありましたが、将来の自分にとってとても良い経験になりました。